

沖縄地方の天候

2021年8月と夏（6月～8月）

令和3年9月1日 沖縄気象台

【 8月 】

天候経過（月のまとめ）	1
天候経過（旬別）	2
大気の流れ	3
日々の天気図（午前9時）・気象概況	4
地上気象 気象経過図	
那覇・名護・久米島・南大東（南大東島）	6
宮古島・石垣島・西表島・与那国島	7
アメダス（月平均気温・月降水量・月間日照時間）	
分布図	8
極値・順位値更新表（月）、生物季節観測表	9

【 夏 】

夏の天候	10
夏の大気の流れ	11
沖縄地方の夏（6月～8月）	
の平均気温と降水量の経年変化	12

※本報告は9月1日時点の資料で作成したものです

本件担当：沖縄気象台 地球環境・海洋課
お問い合わせ先：098-918-4012

天 候 経 過 (月のまとめ)

【8月】

沖縄地方は、上旬は熱帯低気圧や台風第9号、第10号の影響で曇りや雨の日が多く、大雨や荒れた天気となった所があった。中旬以降は太平洋高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、湿った空気や気圧の谷の影響と下旬のはじめに台風第12号の影響を受けて曇りや雨の日もあり、大雨や荒れた天気となった所があった。

平均気温は西表島を除く全ての地点(気象官署及び特別地域気象観測所)で平年を下回り、地域平均平年差は-0.2℃で平年並だった。北原や下地島では月平均気温の低い方からの8月としての極値を記録した。降水量は久米島、南大東島、宮古島で平年を上回ったが、那覇、名護、石垣島、西表島、与那国島で平年を下回り、地域平均平年比は84%で平年並だった。日照時間は久米島と南大東島を除く全ての地点(気象官署及び特別地域気象観測所)で平年を下回り、地域平均平年比は95%で少なかった。

平均気温・降水量・日照時間の平年差(比)と階級

	平均気温 (℃)	平年差 (℃)	階級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階級
那 覇	28.7	-0.3	-	109.5	46	-	202.0	98	0
名 護	28.5	-0.3	-	161.0	61	0	202.8	96	0
久 米 島	28.4	-0.5	-	255.5	129	0	240.2	104	0
南大東島	28.2	-0.4	-	324.5	215	+	256.9	103	0
宮 古 島	28.2	-0.4	-	388.0	151	+	193.7	92	-
石 垣 島	29.2	-0.2	0	195.5	78	0	203.0	87	-
西 表 島	28.7	+0.2	+	173.0	61	-	214.7	98	0
与那国島	28.6	-0.1	0	126.0	59	0	212.3	93	-
沖縄地方		-0.2	0		84	0		95	-

- (注) 1. 「階級」の欄の符号は、以下のことを示す。
 ++: かなり高い(かなり多い)、+: 高い(多い)、0: 平年並、
 -: 低い(少ない)、--: かなり低い(かなり少ない)
2. 「降水量」欄の — は無降水を示す。
3. 沖縄地方の地域平均平年差(比)とは、那覇・名護・久米島・宮古島・石垣島・西表島・与那国島の7地点の平年差(比)の平均値を示す。
4. “)”付きの値は準正常値(統計を行う対象資料が許容範囲で欠けている)を意味する。
5. “)”付きの値は資料不足値(統計を行う対象資料が許容範囲を超えて欠けている)を意味し、階級についても値と同様の品質である。
6. “X”は欠測を意味する。
7. 表中のデータは気象官署及び特別地域気象観測所における値である。
8. 平年値の統計期間は1991～2020年である。

天 候 経 過 (旬別)

【8月上旬】

沖縄地方は台風第9号や台風第10号、湿った空気などの影響で曇りや雨の日が多く、大雨や荒れた天気となった所があった。6日は南大東島で日最大1時間降水量112.5mmを観測するなど、大東島地方の複数の地点で日最大1時間降水量の通年または8月としての極値を更新した。

沖縄地方の平均気温は低く、降水量は多く、日照時間はかなり少なかった。

	平均気温 (°C)	平年差 (°C)	階 級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階 級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階 級
那 覇	28.2	-0.8	-	101.0	103	0	40.8	66	-
名 護	28.4	-0.4	-	113.5	102	+	42.3	66	-
久米島	28.4	-0.6	-	121.5	152	+	54.8	75	-
南大東島	27.9	-0.7	-	304.0	425	++	46.2	62	--
宮古島	28.2	-0.6	-	93.0	106	0	36.2	53	--
石垣島	29.1	-0.4	-	124.5	171	+	29.3	39	--
西表島	28.7	0.0	0	114.0	127	+	37.7	51	--
与那国島	28.0	-0.8	-	101.5	117	+	33.9	45	--
沖縄地方		-0.5	-		125	+		56	--

【8月中旬】

沖縄地方は太平洋高気圧に覆われて晴れた日もあったが、気圧の谷や湿った空気の影響で曇りや雨の日もあり、12日は沖縄本島地方と宮古島地方で、19日は沖縄本島地方で大雨となった所があった。

沖縄地方の平均気温は低く、降水量と日照時間は平年並だった。

	平均気温 (°C)	平年差 (°C)	階 級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階 級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階 級
那 覇	28.5	-0.5	-	3.5	5	-	63.9	92	0
名 護	28.3	-0.6	-	38.5	52	0	59.1	83	-
久米島	28.0	-1.0	--	102.0	177	+	69.9	93	0
南大東島	28.4	-0.2	-	6.0	15	0	99.9	116	+
宮古島	28.0	-0.7	-	38.5	51	0	67.7	98	0
石垣島	29.0	-0.4	-	29.5	37	0	77.9	101	0
西表島	28.6	+0.1	0	46.5	61	0	83.2	118	+
与那国島	28.7	0.0	0	16.5	35	0	76.4	104	0
沖縄地方		-0.4	-		60	0		98	0

【8月下旬】

沖縄地方は太平洋高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、台風第12号や湿った空気などの影響で曇りや雨の日もあり、22日から23日にかけては沖縄本島地方と宮古島地方で大雨や荒れた天気となった所があった。22日は仲筋で日最大1時間降水量62.5mmを観測し、8月としての極値を記録した。また、22日の日最低気温は鏡原で22.9°C、仲筋で23.1°Cを観測し、いずれも日最低気温の低い方からの8月としての極値を更新した。

沖縄地方の平均気温は高く、降水量は平年並、日照時間はかなり多かった。

	平均気温 (°C)	平年差 (°C)	階 級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階 級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階 級
那 覇	29.2	+0.4	+	5.0	7	--	97.3	130	+
名 護	28.8	+0.2	0	9.0	11	-	101.4	132	++
久米島	28.7	0.0	0	32.0	53	0	115.5	137	++
南大東島	28.3	-0.2	0	14.5	36	-	110.8	125	++
宮古島	28.4	-0.1	0	256.5	273	+	89.8	122	+
石垣島	29.4	+0.2	0	41.5	43	0	95.8	119	+
西表島	28.9	+0.7	+	12.5	11	-	93.8	127	+
与那国島	29.0	+0.5	+	8.0	10	--	102.0	131	++
沖縄地方		+0.3	+		58	0		128	++

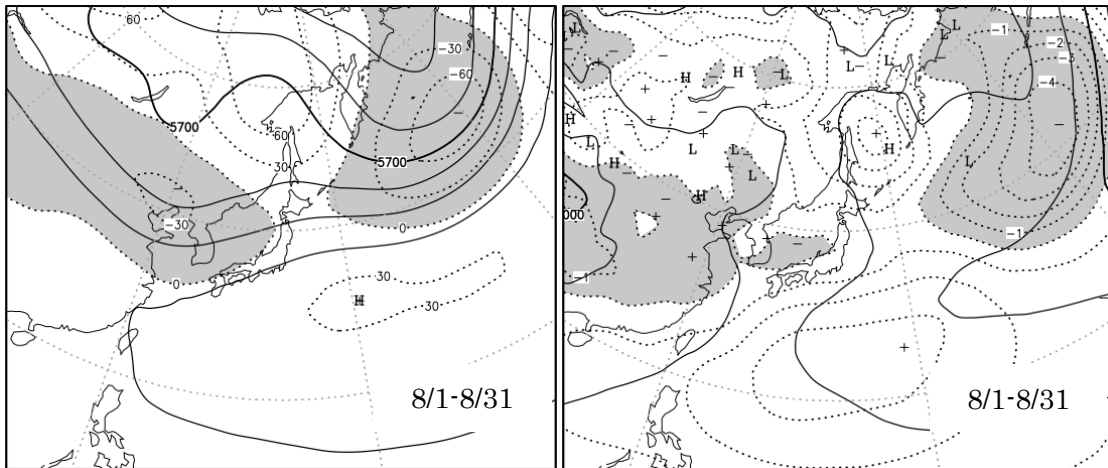
表の(注)は、前頁と同様

大気の流れ

2021年8月

500hPa面の平均高度（左図）は、偏西風はサハリンから東シベリア付近にかけて北へ蛇行し、北日本付近は平年より高かった。黄海付近は平年より低く、日本付近は西谷となった。

平均海面気圧（右図）は、オホーツク海付近はオホーツク海高気圧が出現して平年より高く、日本の南海上では太平洋高気圧が強く平年より高い領域が広がった。

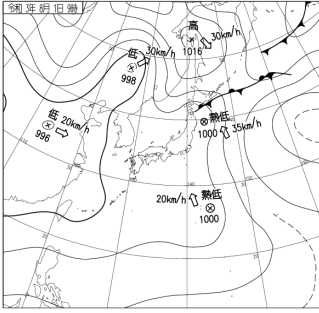


左図 日本付近の500hPa面の平均高度
等値線の間隔は実況（実線）が60m、
平年差（破線）が30mである。
陰影部は高度が平年より低い領域を示す。

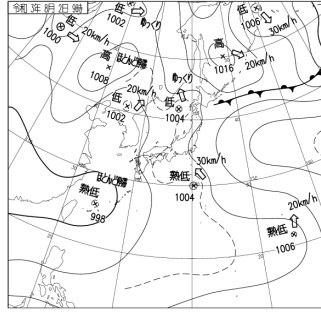
右図 日本付近の平均海面気圧
等値線の間隔は実況（実線）が4hPa、
平年差（破線）が1hPaである。
陰影部は気圧が平年より低い領域を示す。

日々の天気図（午前9時）・気象概況

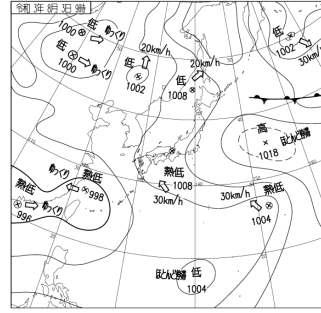
2021年8月1日～8月16日



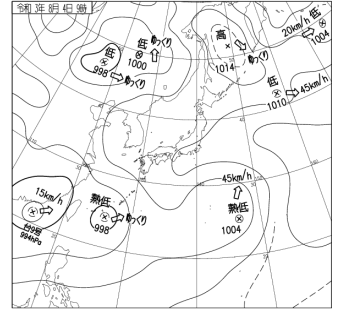
2021年8月1日
気圧の谷の影響を受ける。



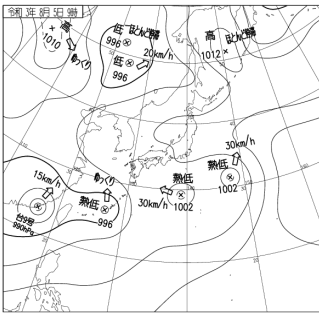
8月2日
熱帯低気圧や湿った空気の影響を受ける。



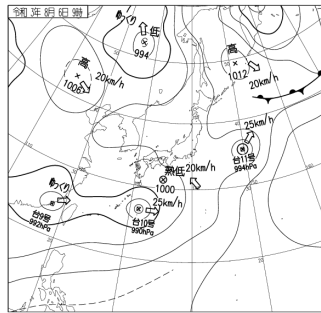
8月3日
沖縄本島地方と先島諸島は熱帯低気圧や湿った空気の影響を受ける。大東島地方は高気圧に覆われる。



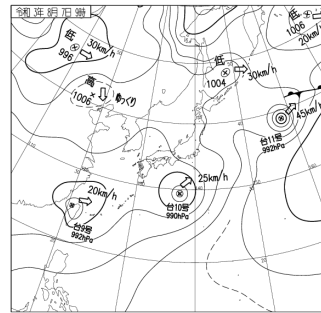
8月4日
熱帯低気圧や湿った空気の影響を受ける。



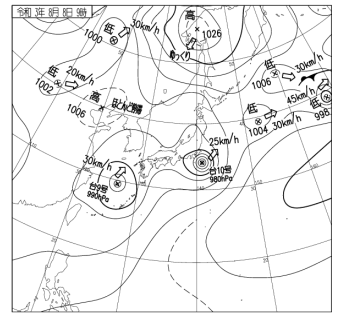
8月5日
台風第10号や湿った空気の影響を受ける。



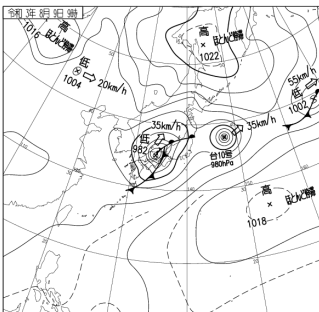
8月6日
台風第10号や湿った空気の影響を受ける。



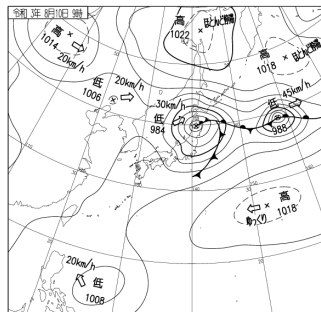
8月7日
台風第9号や湿った空気の影響を受ける。



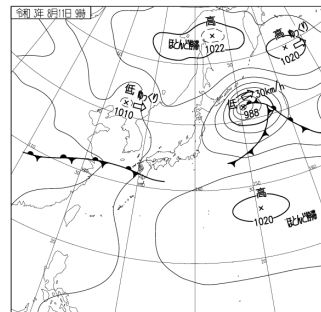
8月8日
台風第9号や湿った空気の影響を受ける。



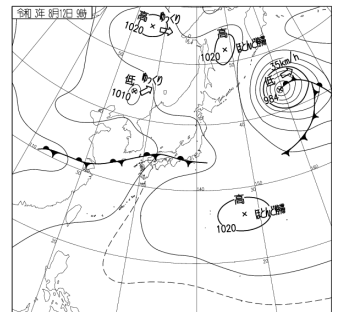
8月9日
湿った空気の影響を受ける。



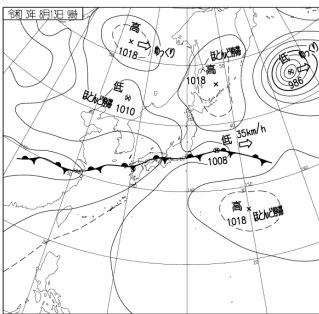
8月10日
沖縄本島地方と大東島地方は湿った空気の影響を受ける。先島諸島は高気圧に覆われる。



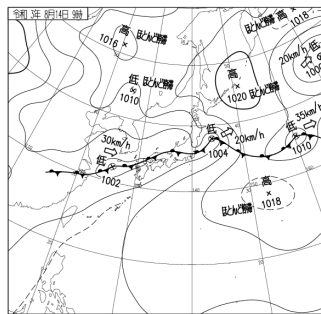
8月11日
沖縄本島地方と先島諸島は湿った空気の影響を受ける。大東島地方は高気圧に覆われる。



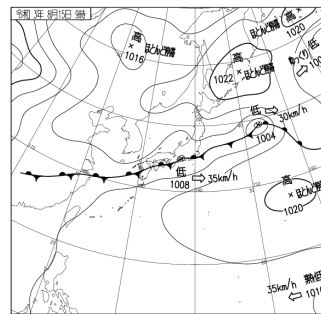
8月12日
沖縄本島地方と先島諸島は気圧の谷の影響を受ける。大東島地方は高気圧に覆われる。



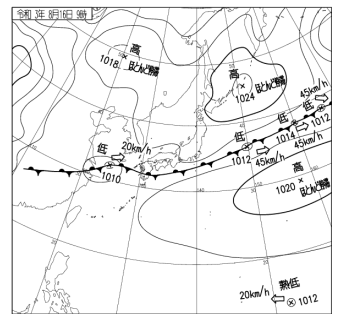
8月13日
沖縄本島地方と先島諸島は湿った空気の影響を受ける。大東島地方は高気圧に覆われる。



8月14日
高気圧に覆われる。



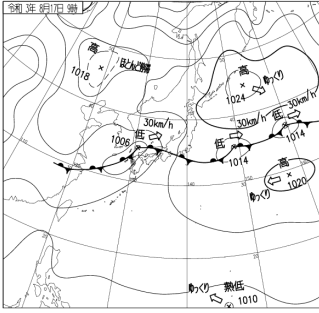
8月15日
高気圧に覆われる。



8月16日
高気圧に覆われる。

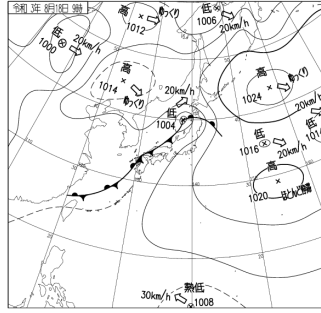
日々の天気図（午前9時）・気象概況

2021年8月17日～8月31日



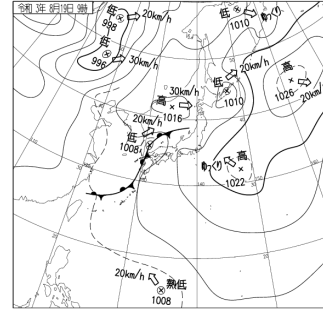
8月17日

沖縄本島地方と大東島地方は湿った空気の影響を受ける。先島諸島は高気圧に覆われる。



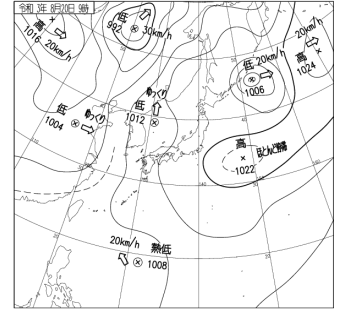
8月18日

湿った空気の影響を受ける。



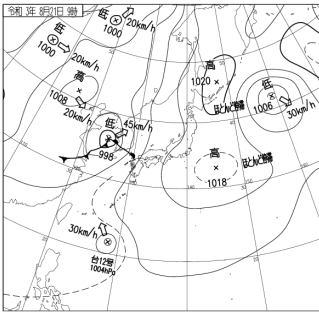
8月19日

沖縄本島地方と先島諸島は湿った空気の影響を受ける。大東島地方は高気圧に覆われる。



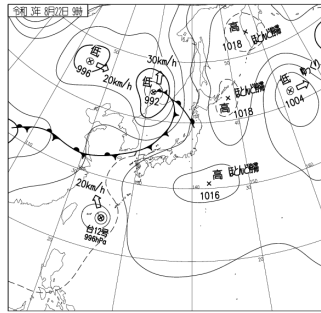
8月20日

沖縄本島地方と先島諸島は高気圧に覆われる。大東島地方は湿った空気の影響を受ける。



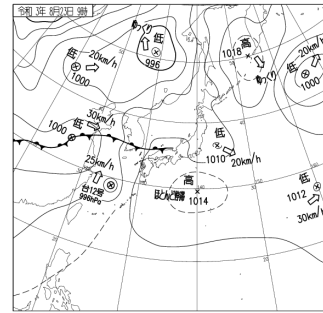
8月21日

沖縄本島地方と大東島地方は湿った空気の影響を受ける。先島諸島は高気圧に覆われる。



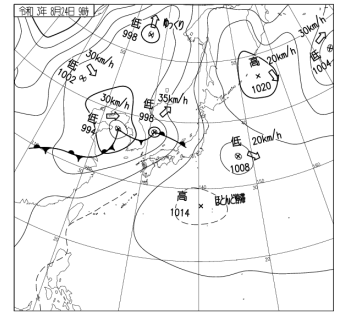
8月22日

沖縄本島地方と先島諸島は台風第12号の影響を受ける。大東島地方は高気圧に覆われる。



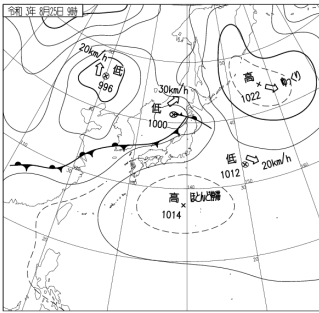
8月23日

沖縄本島地方と先島諸島は湿った空気の影響を受ける。大東島地方は高気圧に覆われる。



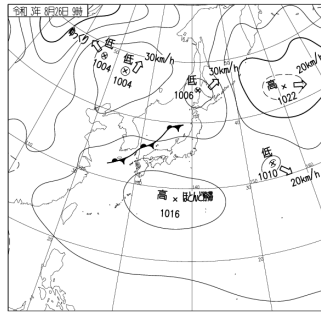
8月24日

高気圧に覆われる。



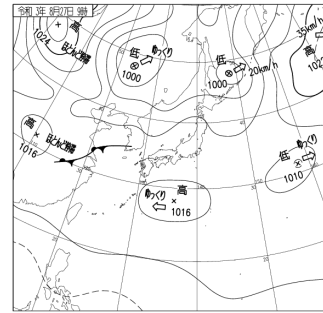
8月25日

高気圧に覆われる。



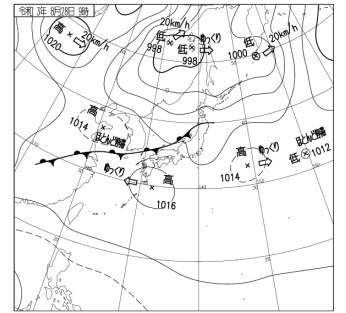
8月26日

高気圧に覆われる。



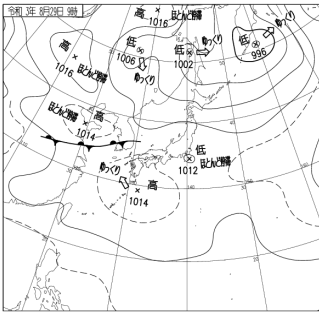
8月27日

高気圧に覆われる。



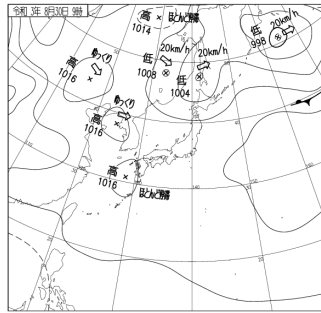
8月28日

高気圧に覆われる。



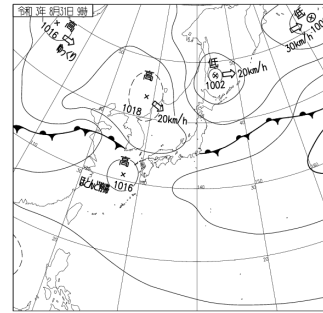
8月29日

高気圧に覆われる。



8月30日

沖縄本島地方と大東島地方、宮古島地方は高気圧に覆われる。八重山地方は気圧の谷の影響を受ける。

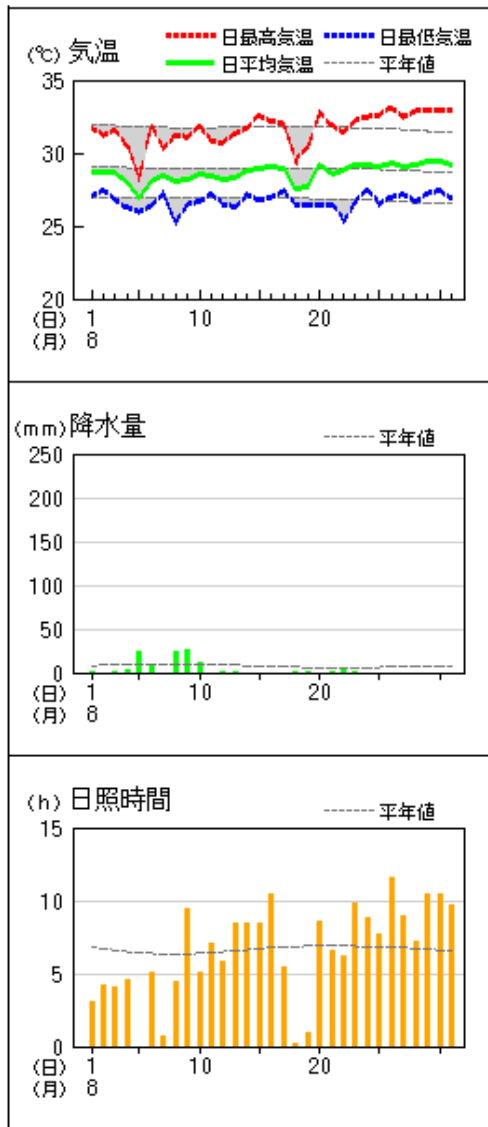


8月31日

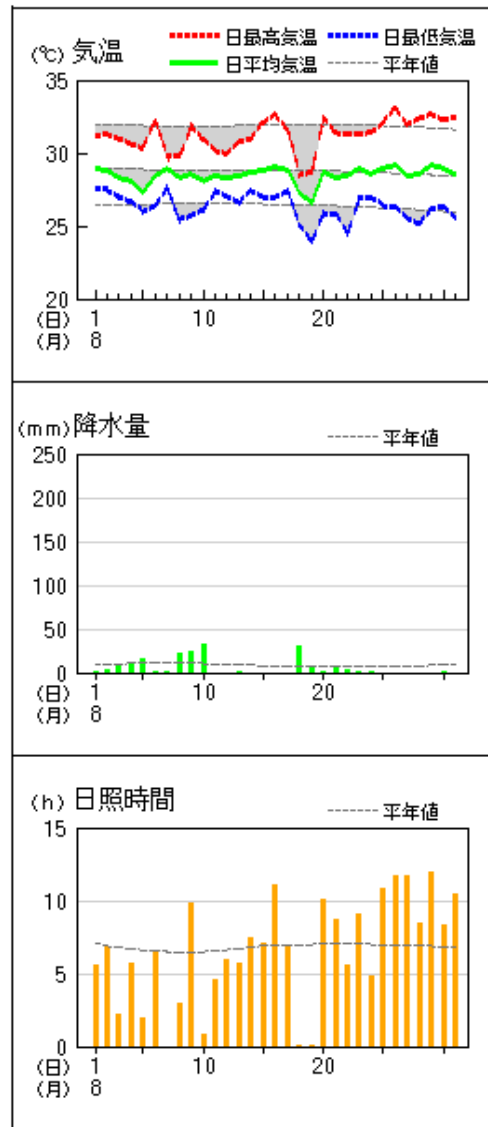
高気圧に覆われる。

地上気象 気象経過図：2021年08月01日-2021年08月31日

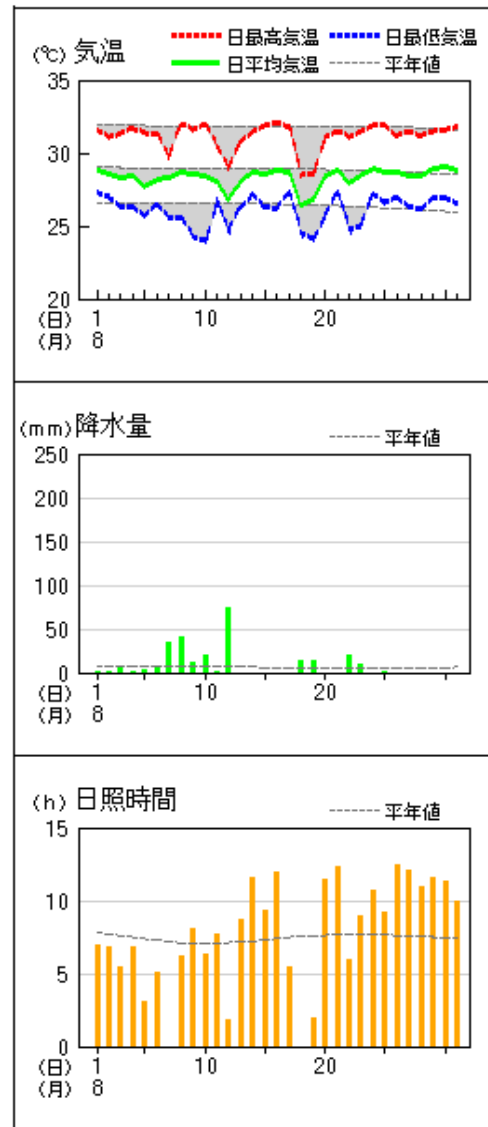
那覇



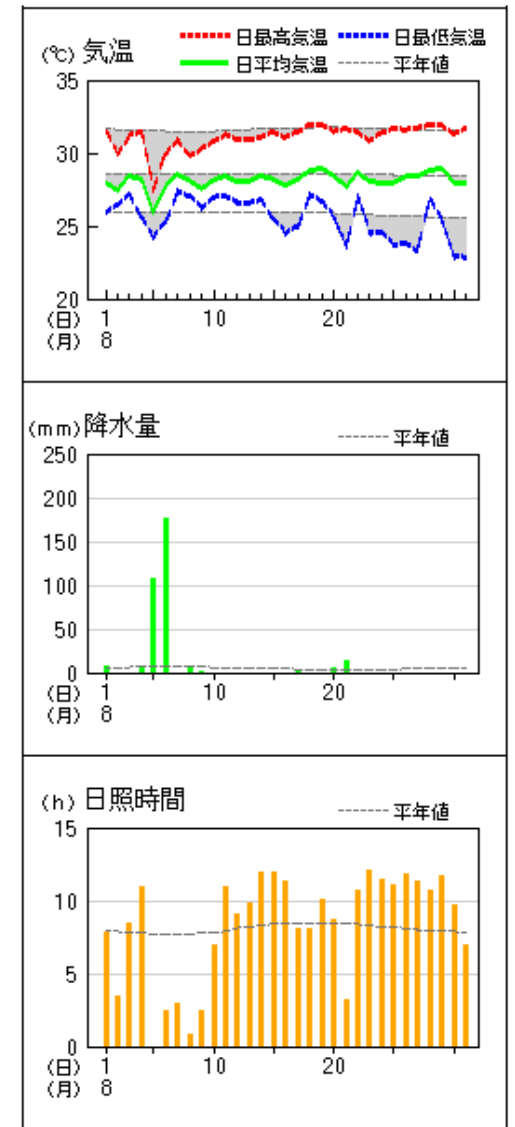
名護



久米島

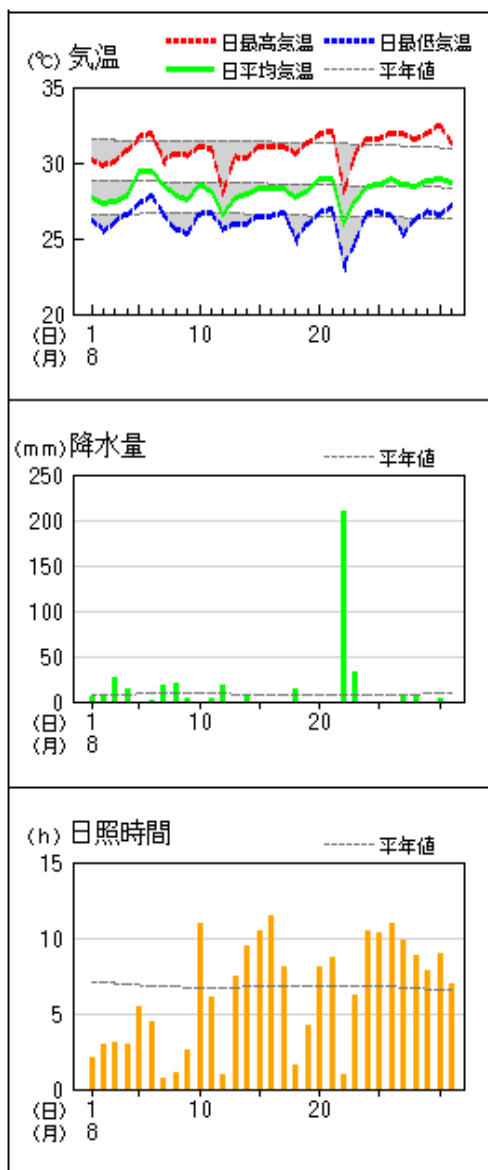


南大東（南大東島）

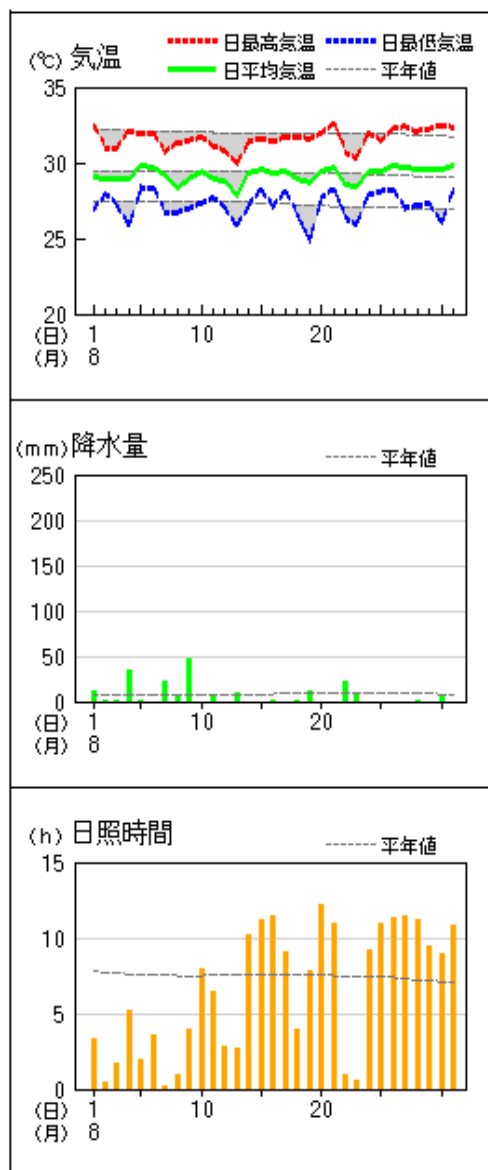


地上気象 気象経過図：2021年08月01日-2021年08月31日

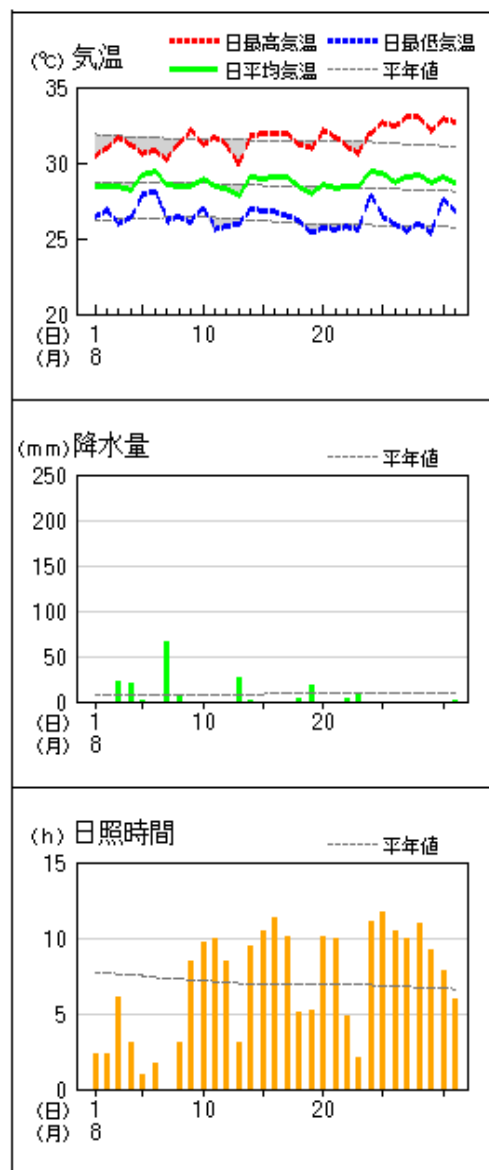
宮古島



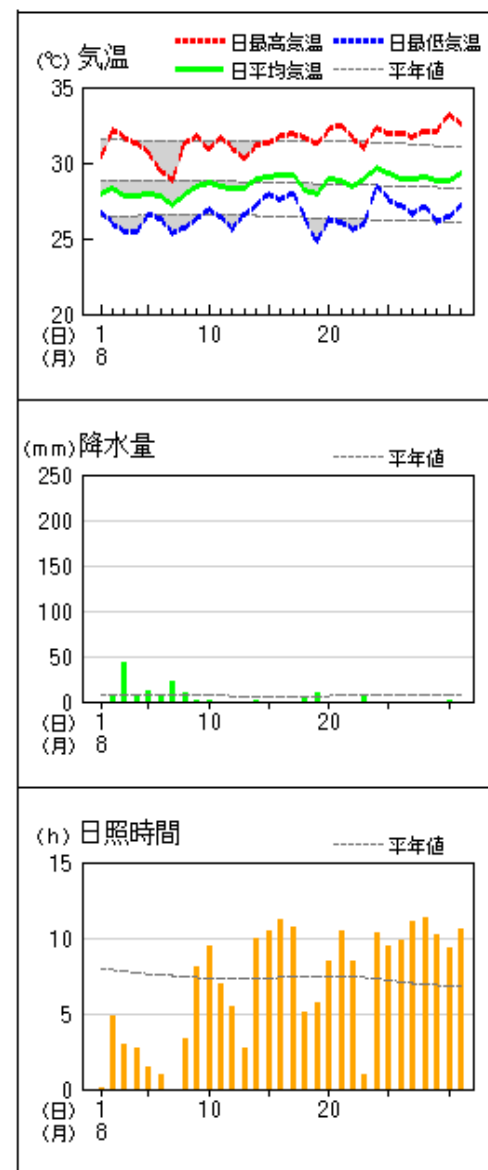
石垣島



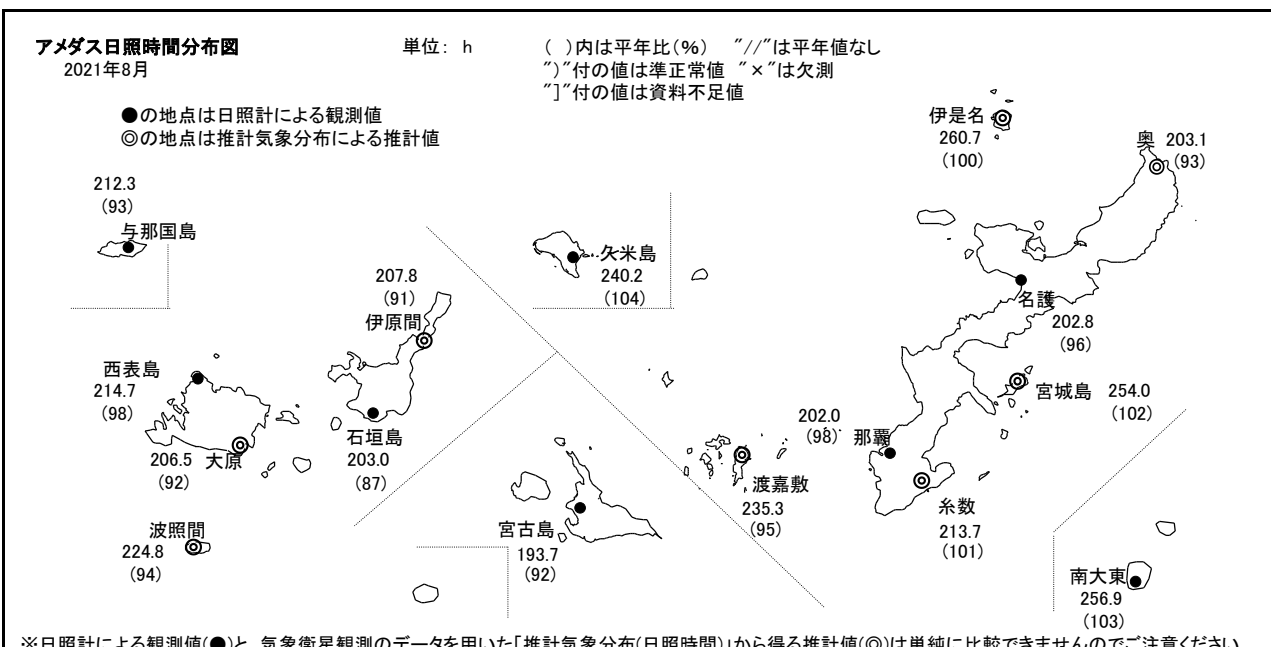
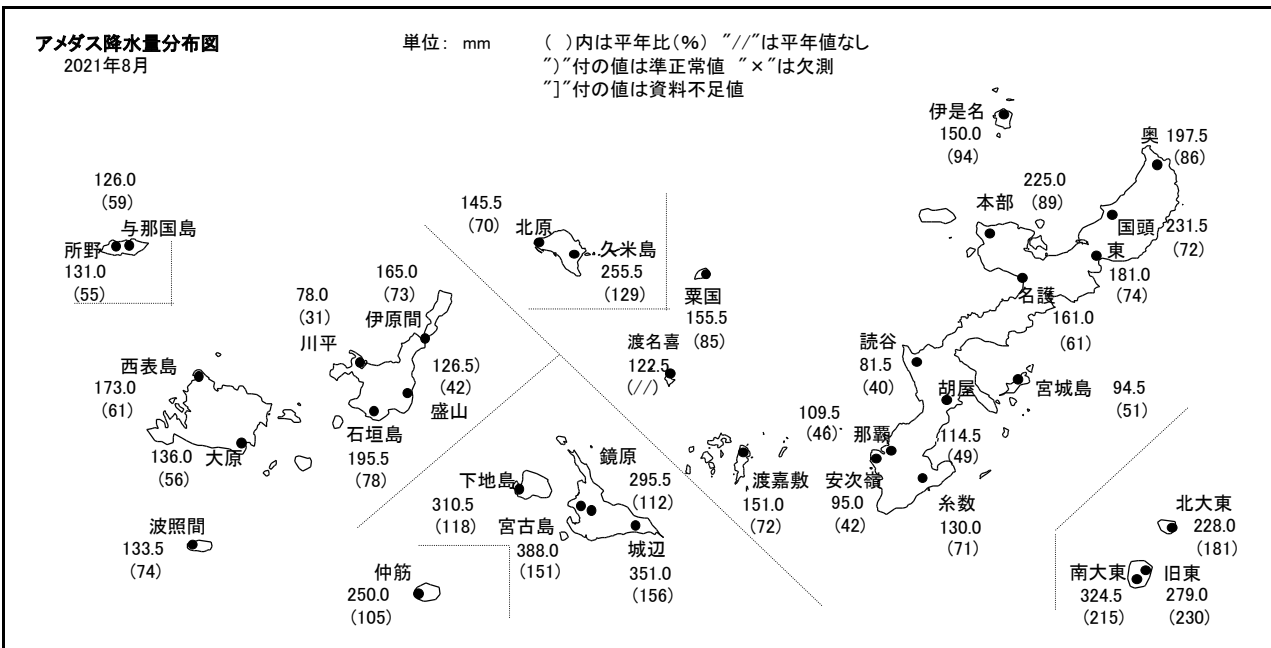
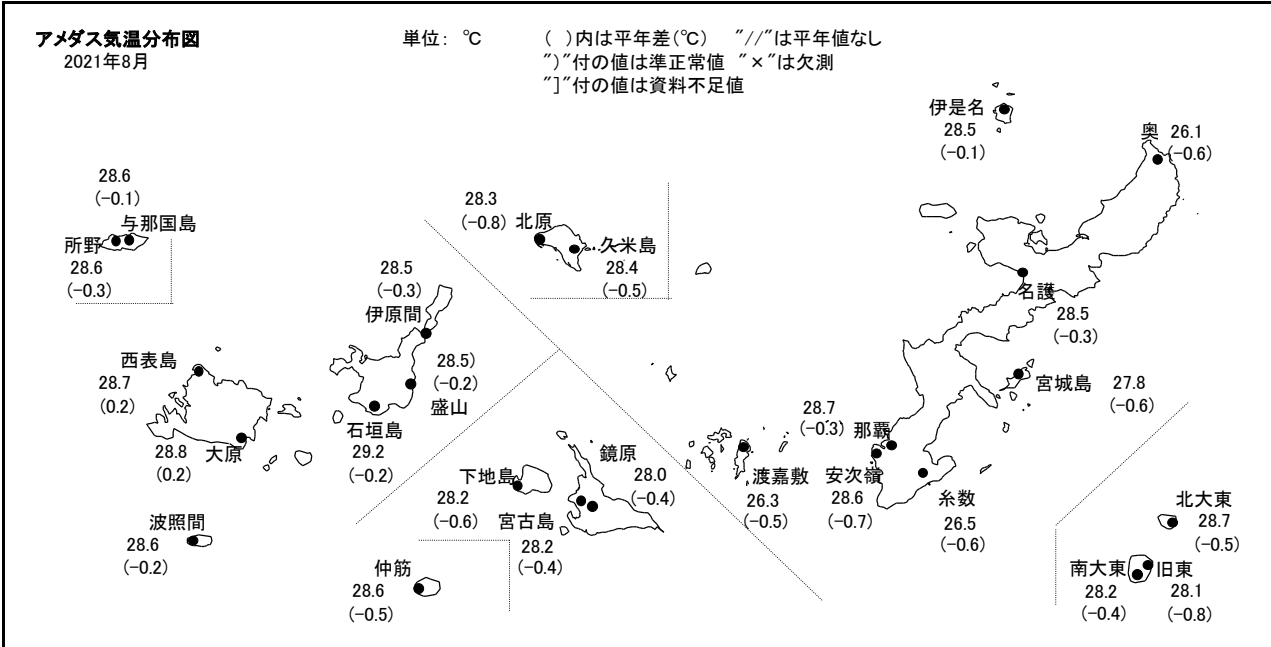
西表島



与那国島



アメダス(月平均気温・月降水量・月間日照時間)分布図



※日照計による観測値(●)と、気象衛星観測のデータを用いた「推計気象分布(日照時間)」から得る推計値(◎)は単純に比較できませんのでご注意ください。

・統計期間が短いため、平年値がない地点があります。

極値・順位値更新表（月）

地上気象観測所

2021年8月

地点名	要素	更新した値	観測日（月）	順位	極値（観測日・月）	
南大東島	日最大10分間降水量（mm）	26.5	2021年8月6日	1	24.5	1966年8月15日
南大東島	日最大1時間降水量（mm）	112.5	2021年8月6日	1	74.0	1952年8月3日
南大東島	月最大24時間降水量（mm）	279.5	2021年8月5日	2	281.0	1997年8月16日

注1：日の統計値は1位更新、月の統計値は3位更新まで記載しています。

注2：1位が更新された場合の「極値」欄は、従来の極値とします。

アメダス観測所

地点名	要素	更新した値	観測日（月）	順位	極値（観測日・月）	
北大東	日最大1時間降水量（mm）	72.5	2021年8月6日	1	42.5	2008年8月6日
旧東	日最大1時間降水量（mm）	96.5	2021年8月6日	1	37.5	2008年8月15日
仲筋	日最大1時間降水量（mm）	62.5*	2021年8月22日	1	62.5	2020年8月21日
鏡原	日最低気温の低い方から（℃）	22.9	2021年8月22日	1	23.1	2011年8月11日
仲筋	日最低気温の低い方から（℃）	23.1	2021年8月22日	1	23.2	2009年8月29日
北大東	日最大10分間降水量（mm）	18.0	2021年8月6日	1	17.0	2012年8月22日
旧東	日最大10分間降水量（mm）	22.5	2021年8月6日	1	13.5	2013年8月16日
北原	月平均気温の低い方から（℃）	28.3	2021年8月	1	28.4	2007年8月
下地島	月平均気温の低い方から（℃）	28.2*	2021年8月	1	28.2*	2012年8月

注1：日及び月の統計値の1位更新を記載していますが、統計期間10年未満の地点及び要素は除いています。

注2：1位が更新された場合の「極値」欄は、従来の極値とします。

注3：*印は下位と同値（タイ記録）を意味します。

生物季節観測表

2021年8月

観測場所	種別（代替種目）	現象	本年発現	平年値	昨年発現	発現 平年差	最早日	最晩日
			月 日	月 日	月 日			
(1) 植物								
なし								

※平年値に関するお知らせ

気象庁では、2021（令和3）年5月19日から1991～2020年の観測値による新しい平年値の使用を開始しました。また、同日より沖縄地方の地域平均平年差（比）は、那覇、名護、久米島、宮古島、石垣島、西表島及び与那国島の7地点の平年差（比）の平均値に変更しました。

沖縄地方の天候でもこれらを「沖縄地方の天候（2021年5月と春（3月～5月）」より使用しています。

夏の天候

2021年6月～8月

天候経過

6月は台風第3号や梅雨前線、湿った空気などの影響で曇りや雨の日が多く、大雨や荒れた天気となった所があり、特に沖縄本島地方では、15日と29日は記録的な大雨となった。7月は、太平洋高気圧に覆われ晴れた日が多かったが、後半は台風第6号の影響で大荒れや大雨となった所があった。8月は、中旬以降は太平洋高気圧に覆われ晴れた日が多かったが、熱帯低気圧や台風第9号、第10号、第12号の影響で曇りや雨の日もあり、大雨や荒れた天気となった所があった。

平均気温の地域平均平年差は+0.1℃で平年並だった。降水量は、石垣島を除く全ての地点(気象官署及び特別地域気象観測所)で平年を上回り、地域平均平年比は153%でかなり多かった。日照時間は与那国島を除く全ての地点(気象官署及び特別地域気象観測所)で平年を下回り、地域平均平年比は91%で少なかった。

平均気温・降水量・日照時間の平年差(比)と階級

【2021年6月～8月】

	気温 (℃)	平年差 (℃)	階級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階級
那覇	28.2	-0.2	-	1340.5	188	++	512.0	86	-
名護	28.0	-0.2	-	1193.5	161	++	492.6	82	--
久米島	28.3	-0.1	0	1279.0	194	++	578.7	90	-
南大東島	27.7	-0.4	-	978.0	209	++	607.9	81	--
宮古島	28.4	0.0	0	784.5	130	+	565.6	88	-
石垣島	29.4	+0.3	+	594.5	99	0	636.7	90	-
西表島	28.8	+0.4	+	781.0	131	+	664.7	98	0
与那国島	28.7	+0.2	0	847.5	169	+	684.1	102	0
沖縄地方		+0.1	0		153	++		91	-

(注)1. 「階級」の欄の符号は、以下のことを示す。

++：かなり高い(多い)、+：高い(多い)、0：平年並、
-：低い(少ない)、--：かなり低い(少ない)

2. 「降水量」欄の—は無降水を示す。

3. 沖縄地方の平年差(比)とは、那覇・名護・久米島・宮古島・石垣島・西表島・与那国島の7地点の平年差(比)の平均値を示す。

4. “)”付きの値は準正常値(統計を行う対象資料が許容範囲で欠けている)を意味する。

5. “)”付きの値は資料不足値(統計を行う対象資料が許容範囲を超えて欠けている)を意味し、階級についても値と同様の品質である。

6. “X”は欠測を意味する。

7. 表中のデータは気象官署(气象台、特別地域気象観測所)における値である。

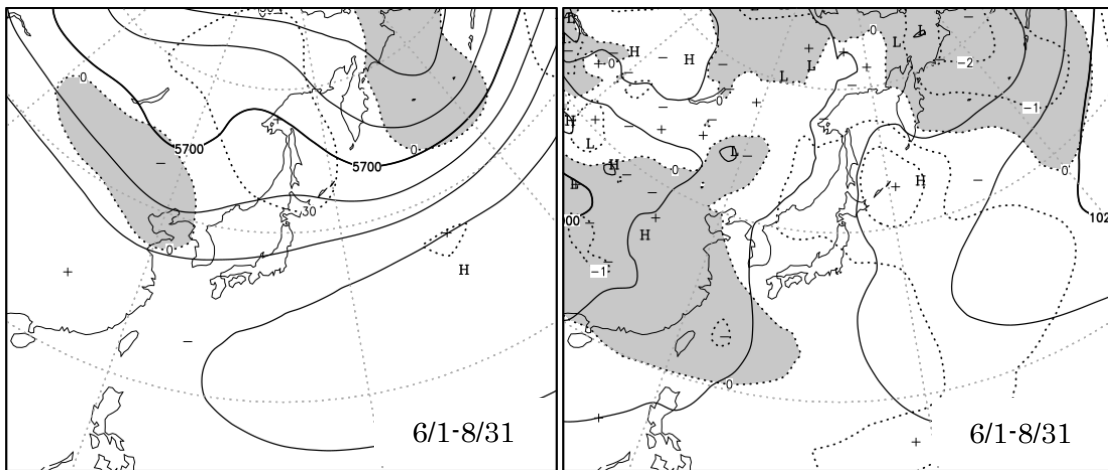
8. 平年値の統計期間は1991～2020年である。

夏の大气の流れ

2021年6月～8月

500hPa面の平均高度(左図)は、モンゴルから黄海付近にかけて平年より低かった。亜熱帯高気圧の張り出しは、沖縄・奄美付近で若干弱かった。

平均海面気圧(右図)は、太平洋高気圧の張り出しは弱く、沖縄付近は平年より低かった。このため、沖縄地方は前線や湿った空気の影響を受けやすかった。



左図 日本付近の500hPa面の平均高度
等値線の間隔は実況(実線)が60m、
平年差(破線)が30mである。
陰影部は高度が平年より低い領域を示す。

右図 日本付近の平均海面気圧
等値線の間隔は実況(実線)が4hPa、
平年差(破線)が1hPaである。
陰影部は気圧が平年より低い領域を示す。

沖縄地方の夏（6月～8月）の平均気温と降水量の経年変化

沖縄地方の2021年夏（6月～8月）の平均気温の地域平均平年差は $+0.06^{\circ}\text{C}$ であった。1897年の統計開始以降の長期変化傾向（赤色の実線）は、100年間に 1.42°C の割合で上昇している（図1）。

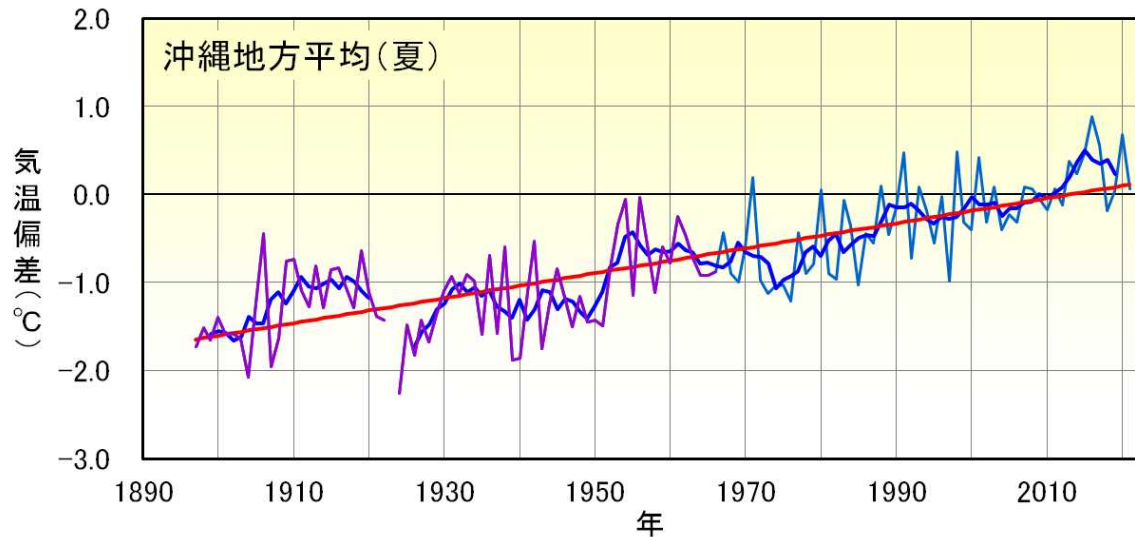


図1 沖縄地方の夏（6月～8月）の平均気温の地域平均平年差の経年変化
[1897～2021年の125年間]

横軸は西暦〔年〕、縦軸は沖縄地方の平均気温の地域平均平年差〔 $^{\circ}\text{C}$ 〕を示す。水色の折れ線グラフは7地点のデータが揃っている期間、紫色の折れ線グラフは7地点未満の期間、青色の太線は各年の統計値の5年移動平均値、赤色の実線は各年の統計値の長期変化傾向。

那覇の1927年4月以前は、移転の影響を補正したデータを用いている。

1923年は那覇観測値欠測。

沖縄地方の2021年夏(6月～8月)の降水量の地域平均平年差は+343.8mmであった。長期変化傾向については、平均気温と異なり統計的に有意な特徴は見られない(図2)。

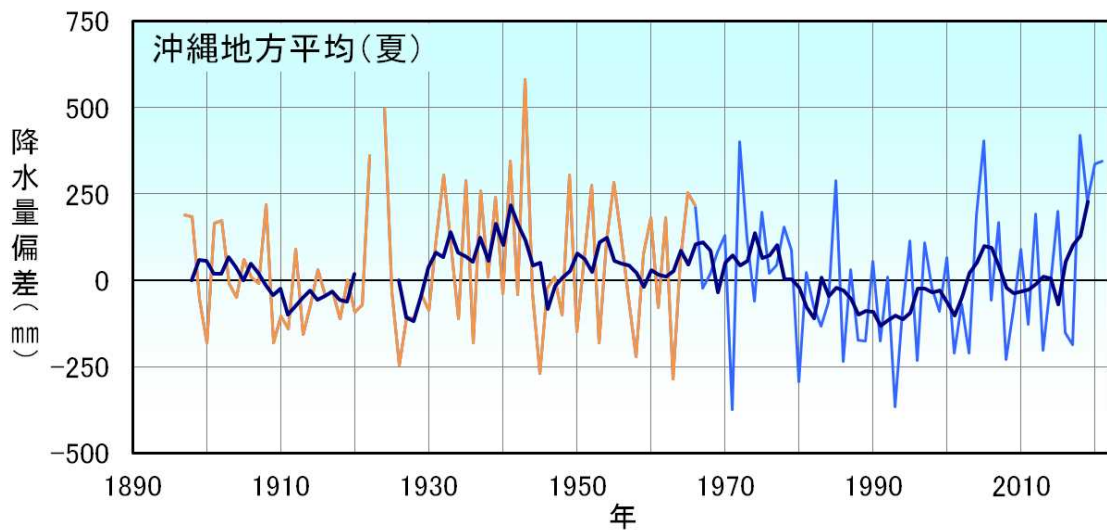


図2 沖縄地方の夏(6月～8月)の降水量の地域平均平年差の経年変化
[1897年～2021年の125年間]

横軸は西暦[年]、縦軸は沖縄地方の降水量の地域平均平年差[mm]を示す。
水色の折れ線グラフは7地点のデータが揃っている期間、橙色の折れ線グラフは7地点未満の期間、青色の太線は各年の統計値の5年移動平均値。
1923年は那覇観測値欠測。

【注】

- この資料においては、沖縄地方の平均気温と降水量の地域平均平年差は、那覇・名護・久米島・宮古島・石垣島・西表島・与那国島の7地点の各平年値との差から算出している。また、上記7地点のうち2地点以上で観測値が存在する期間について算出しているため、統計開始は1897年からとなる。
- 平年値の統計期間は1991～2020年の30年間である。
- 沖縄地方の平均気温の地域平均平年差は、長期的なトレンドの評価のため、小数第2位まで求めている。